

大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【5】

～2017年度後期の実践から～

吉田 貴富

Contents, Textbooks and Assignments of a Course of Liberal Arts Education at University【5】

～ A case study of a course in the second semester of 2017 ～

YOSHIDA Takatomi

(Received August 2, 2018)

キーワード：大学、教養教育、美術、テキスト、宿題、ワークシート

はじめに

筆者は、大学における教養教育における美術教育のあり方について、自己の実践を省察し改善と試行錯誤を重ねてきた¹⁾。本稿では、直近の実践を振り返り、授業内容とテキスト選定、及びテキストを授業本体や宿題にどのように生かしたかについて考察を交えてまとめる。今回は主にテキストをどのように活用したかについて述べる。

1. 共通教育「A r tのA」

考察の対象とする授業は、山口大学共通教育の中で筆者が担当している「A r tのA」である。この授業は、系列で「一般教養」のうち「人文教養」「社会教養」「自然教養」「学際的教養」の中の「学際的教養」、その「学際的教養」の中に6つの分野があり、そのうちの「文化の継承と創造」の中の一科目である。筆者が単独で担当している。クォーターの授業であり、2017年度は前期クォーター2と後期クォーター4に開講され、今回考察の対象とするのは後期クォーター4の実践である。2017年度後期クォーター4開講の「A r tのA」の受講者は、最終的に試験を受けるまで受講した者が、経済学部26名、工学部10名、計36名であった。水曜日1・2時限。教室は共通教育3番教室。

シラバスの「概要」に以下のように記した。

【内容】2014年度までの共通教育「美術史」をベースに、さらに緩やかにさらに幅広く造形表現を概観する。絵画作品を中心とする。必ずしも通史的な扱いはしない。

「A r tのA」とは、「アート」の「ア」、「ABC」の「A」、「あいうえお」の「あ」、即ちアートの基本の「き」という意味である。

2. テキスト

テキストの選定の基準・条件は、2017年度前期までと同様の以下のとおりである。

- a. 授業者が構想する授業内容に合致し利用しやすいこと
- b. 文庫本または新書本であること
- c. 価格が1000円以内であること
- d. 図版が豊富であり、可能な限りカラーで鮮明であること
- e. 出版年が比較的新しいこと

f. インターネット上などでの評価が高いこと

2017年度後期は『早わかり！西洋絵画のすべて 世界10大美術館』（望月麻美子・三浦たまみ著、大和書房 [ビジュアルだいわ文庫]、2014年5月、定価：本体740円）とした²⁾。

所収されている10の美術館は以下。〔 〕内は所在地。掲載順。

- ルーヴル美術館 [フランス、パリ]
- メトロポリタン美術館 [アメリカ、ニューヨーク]
- エルミタージュ美術館 [ロシア、サンクトペテルブルク]
- オルセー美術館 [フランス、パリ]
- ロンドン・ナショナル・ギャラリー [イギリス、ロンドン]
- プラド美術館 [スペイン、マドリード]
- ウフィツィ美術館 [イタリア、フィレンツェ]
- ワシントン・ナショナル・ギャラリー [アメリカ、ワシントン]
- ヴァチカン美術館 [ヴァチカン市国]
- ウィーン美術史美術館 [オーストリア、ウィーン]

美術館ごとにまとめられており、各美術館に関する概説が4～6ページ、続けて所蔵作品から10作品（10名の画家）ずつが選ばれ1作品につき見開き2ページで扱われている。図版はすべてカラーである。

3. テキストの活用の仕方

授業に用いたワークシートと宿題プリントを資料1～6として文末に掲げる。サイズは、実物がA4のものをA5に縮小してある。【1】から【6】は授業回を示している。

基本的な授業内容は同年度前期の実践とほぼ同じであるので割愛する。

この実践でテキストとして用いた書籍を2018年度前期の教育学部の専門科目「美術理論」（1年生前期、第1セメスター開講）のテキストとしても用いた。「美術理論」は、クォーター授業である「ArtのA」と異なりセメスター授業であるため授業回数も多いので、「ArtのA」で詳しく扱えなかった美術館についても宿題プリントとして扱えた。その宿題プリントを資料7～9として同様に文末に掲げる。

以下、各資料について、ねらいや要点を述べる。

3-1 資料1【1】ワークシート

第1回の授業のワークシートは、テキストの「はじめに」（4ページ分）を読んで記述するものである。書籍の「はじめに」であるから、読者の興味・関心を引くべく記述してあるので、大学での美術の授業の最初の課題に相応しい。筆者がこの授業で柱としている時代様式。その中のルネサンス期の3大巨匠も本文に盛り込まれているので、それらを抽出させた。

3-2 資料2【1】宿題 ルーヴル美術館

今回のテキストに限らず、書籍に掲載されている図版は、実物の大きさがわかりにくい。美術作品の図版を見る際に、その原寸をイメージすることは大切なことである。したがって、それを受講生に確認させている。この書籍は、掲載されているすべての図版に作品のサイズが記されている点も優れており、テキストとしても使いやすい。

「ガブリエル・デストレ～アンリ4世～マリー・ド・メディシス」、「ダヴィッド《皇帝ナポレオン1世と皇后ジョセフィーヌの戴冠式》と事実の違いのエピソード」、「ジョルジュ・ド・ラ・トゥール《いかさま師》」、これらはいずれも、テキストに関係なく筆者が授業内容として扱う事柄である。

3-3 資料3【2】宿題 エルミタージュ美術館

筆者の授業においては、内容論の授業においても教育論の授業においても「芸術作品の2側面：内容と形式」を必ず取り上げる。美術作品を鑑賞する上でも、美術教育を構想・実践する上でも非常に重要な知識だと思うからである。この宿題においてティツィアーノの作品とマティスの作品を形式において比較させている。美術史の基本である時代様式とismについても抽出させている。

3-4 資料4【3】宿題 ウフィツィ美術館

すべての学生の頭の中にきちんとした歴史年表があるわけではない。高校までに学習したことも、忘れていく学生が多い。したがって、改めて歴史のポイントを整理して理解させる必要がある。西洋美術史においてルネサンスは非常に大きなターニング・ポイントであり重要な時代であるので、時間的に幅のあるルネサンス期であるが、「盛期ルネサンスの三巨匠が生きた1500年前後がひとつのピーク」ということを理解させて覚えておくように筆者は指導している。この宿題においてそれを考えさせている。

ボッティチェリの《ヴィーナスの誕生》と《春》も、テキストに関係なく筆者がしばしば取り上げる教材である。

時代による描き方（形式）の違い・変化について、テキストに掲載されたジョット、マザッチョ、ラファエロ、三者の聖母子像を用いて考えさせている。

3-5 資料5【4】宿題 ヴァチカン美術館

システイーナ礼拝堂も、言わば筆者の持ちネタのひとつである。美術史のスタートとしての古代洞窟画の学習において、ラスコーやアルタミラなどの洞窟画³⁾が何のために描かれたのかを考えさせ、単なる「食料としての獲物が撮れますように」という実利的な祈りのためではなく、自然や神のような存在に対する祈り、即ち今日の宗教のような活動のために描かれたのではないかという結論に導き、ラスコーの主洞が「先史時代のシステイーナ礼拝堂」という異名を持っていることを告げてシステイーナ礼拝堂へ話題をつなげるのである。

システイーナ礼拝堂内の作品の中でもミケランジェロの天井画と正面祭壇画を取り上げる。これらについてもこのテキストでは図版とともに掲載されている。図版が修復前のものであるが、筆者はこの修復を授業内容として扱っているので、受講者にまずテキスト掲載の図版を見せて、その後にプロジェクタで修復後の鮮やかな図版を見せることによって、効果的に使える。

この章にはフレスコの説明がある（p. 228）。技法を知ることは大切である。テキストに関わらず筆者が解説している内容が文字情報だけではあるが簡潔に記されており、テキストとして使いやすい。

3-6 資料6【5】宿題

筆者は、共通教育におけるクォーター授業の回数を、大学の方針どおり「試験週間の2回分のうち1回は授業を行い第2週で試験をする」ようにしている。しかし、この期は、試験週間の第1週に出張が入っていたため、やむを得ず授業を6回で終えた。

テキスト掲載の10の美術館のうち4館しか取り上げられなかったため、最後の宿題は、残りの美術館について、量は少ないが、網羅的に扱う形とした。

フェルメールの作品4点について、所蔵先を超えて見せるように工夫した。解答する「共通点」としては、内容でも形式でもよい。

4. 専門教育科目「美術理論」のテキストとしての活用

教育学部で美術を専攻する1年生用の授業科目「美術理論」は、美術理論の入門的な位置づけである。筆者はこの科目を2016年度から担当している。それまでに共通教育の「美術史」「A r tのA」で実践してきた内容をベースに、美術の授業としてのレベルを少し上げ、教員養成に関する内容を少し盛り込んでいる。2018年度前期「美術理論」のテキストに同書を採用し、2017年度後期「A r tのA」で使用したワークシートと宿題プリントはほぼそのまま利用し、「A r tのA」で扱えなかった美術館について新たに宿題プリントを作成した。共通教育においては1回の宿題をA4一ページを基本としたが、専門教育においてはA4二ページ分（A3）とした。内容も専門性が少し高いものが含まれている。最終回の宿題は、共通教育同様、扱えなかった美術館に関する内容と授業内容を網羅的に扱う内容となった。

これらの宿題プリントは、少し改変するだけで共通教育にも使用することが可能である。

おわりに

pp. 260, 261にマンテーニャの《聖セバステアヌス》が取り上げられている。これは筆者の授業内容のひとつ「イコノグラフィとイコノロジー」の教材としている作品である（別ヴァージョン有り）。

近年、日本において日本美術に対する興味・関心は20世紀に比べれば高まっている。それでも日本の美術教育は西洋偏重である。今回のテキストも「過去の美術」「西洋の美術」が中心である。それらを補うべく、今回の授業に限らず筆者は授業において「今日の美術、同時代の美術」「日本の美術、日本の作家」を取り上げるようにしている。今回のテキストには、1ページだけではあるが（p. 215）、絵巻物、フェノロサ、岡倉天心、廃仏毀釈の記述があり、これらはテキストに関係なく筆者が授業内容としている事項でもあるので、専門科目「美術理論」の方では取り上げた。

今回の授業では、テキスト掲載の10の美術館（章）すべてをつぶさに読ませることはできなかった。しかし、部分的に作品や画家をまったく取り上げなかった美術館（章）は無い。それだけ、この書籍が筆者の授業内容に合致しており、使いやすかったということである。テキストの全ページを扱うことはできなかったが、授業時間が限られているのでやむを得ない。授業では扱えなくても、テキストは受講者の手元に残る。筆者がこれまでのこの一連の論考において述べてきたとおり、大学の教養教育を終えた後にも生涯学習の観点から受講者の手元に美術に関するある程度まとまった書籍が1冊残ることは、一社会人の教養の一部として、また卒業後も美術との接点や美術の窓として大切なことであると考えている。

註

- 1) 吉田貴富：「共通教育における美術教育に関する一考察（2）－1996年度共通教育科目『20世紀美術と教育』の実践を通して－」，山口大学教育学部研究論叢第46巻，第3部，1996。
吉田貴富：「抽象画理解のための授業の試み－1996年度共通教育科目『20世紀美術と教育』における実践から－」，山口大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要，第8号，1997。
吉田貴富：「大学における教養教育としての美術教育のあり方について（1）－インタラクティブな授業の試み－」，大学美術教育学会誌，第30号，1998。
吉田貴富：「大学における教養教育としての美術教育の在り方について（2）－『発問活用型』及び『対話的ギャラリートーク型』の鑑賞活動を取り入れた美術史の授業の試み－」，大学美術教育学会誌，第38号，2006。
吉田貴富：「大学における教養教育としての美術教育の在り方について（3）－受講者の意見が授業内容へ及ぼす広がり」と深化－」，大学美術教育学会誌，第39号，2007。
吉田貴富：「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【1】～2015年度前期の実践から～」，山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要，第41号，2016。
吉田貴富：「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【2】～2015年度後期の実践から～」，山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要，第43号，2017。
吉田貴富：「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【3】～2016年度後期の実践から～」，山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要，第44号，2017。
吉田貴富：「大学における教養教育の授業内容とテキストと宿題【4】～2017年度前期の実践から～」，山口大学教育学部附属教育実践総合センター研究紀要，第45号，2018。
- 2) この「ArtのA」で過去にテキストとして使用した書籍は以下のものである。
2015年度前期：木村泰司『名画は嘘をつく』大和書房（ビジュアルだいわ文庫）2014年11月、定価本体740円
2015年度後期：中野京子『怖い絵』角川書房（角川文庫）2013年7月、定価本体680円
2016年度後期：中野京子『怖い絵 泣く女篇』角川書房（角川文庫）2011年7月、定価本体680円
2017年度前期：望月麻美子・三浦たまみ『名画が描く罪深き旧約聖書』大和書房（ビジュアルだいわ文庫）2015年3月、定価本体740円
- 3) これらの発見以降にさらに古い時代の洞窟画がいくつも発見されている。

【資料1】

2017 ArtのA【1】 ワークシート

2017.12.6 (水)

★この授業時間内に書いて提出してください。

提出しなければ、あるいは氏名が書いてなければ欠席。

____ 学部 ____ 学科 ____ 氏名 ____

テキスト『世界 10 大美術館』pp. 2～5 を読んで、以下の () に適語を入れなさい。

★自分の力でやること。隣の人と話したり、写したりしてはいけません。

- ゴッホの《ひまわり》は、(国名) のアールデ () を迎え入れるために描いた作品である。のちにゴッホは自らの () を切り落とす事件を起こしてしまう。
- カラヴァッジョは、美術史の時代様式で言うと () 期の画家である。彼は美術史上ただ一人、() を犯した画家である。
- ネサンスの3大巨匠とは、生まれた順に、() ・ダ・ヴィンチ、() 、() ・サンティの3人である。
- エルミタージュ美術館の所蔵品の数はおよそ () 点である。
- ルーヴル美術館は世界一の来館者数を記録した。年間 () 人である。
- 1939年9月、ルーヴル美術館から《モナ・リザ》をはじめ主要な名画約 () 点が忽然と姿を消した。() 大戦下のことである。
- メトロポリタン美術館には、目玉になっている5点の () の作品がある。
- ウフィツィ美術館にはイタリア・() 最盛期の名画が揃っている。

【資料2】

2017 ArtのA【1】 宿題

2017.12.6 (水)

★このままA4でコピーを取って、授業開始時にコピーを提出。返却しません。当日、コピーを忘れたら原本を提出。提出しなければ「宿題忘れ」扱い。

『世界 10 大美術館』pp. 18～43 ルーヴル美術館

____ 学部 ____ 学科 ____ 氏名 ____

- () 内に適語を入れなさい。
- ルーヴル美術館がある都市は (国名) の (都市名) である。ルーヴル美術館の建物は、美術館になる前はルーヴル ()、その前は要塞として建築されたルーヴル () である。ルーヴル美術館になったのは () 年。ルーヴル美術館の展示品は () 点、そのすべてを見ようとすれば全長約 () kmを歩くことになる。2011年12月からすべての照明がLED照明に替えられた。このLEDは日本の () 製である。
- ヴェロネーゼの《カナの婚礼》のサイズは、縦約 () m×横約 () mである。
- ドラクロワは () の魔術師と呼ばれる。
- フェルメールの《レースを編む女》のサイズは縦 () cm×横 () cmである。
- ガブリエル・デステレは (a) 世の愛人である。乳首をつまむ仕草は () を示すと考えられている。しかし、彼女は急死し、aはイタリアのメディチ家の () と政略結婚した。
- 《ダイヤのエースを持つ () 師》や《大工の聖ヨセフ》で知られるジョルジュ・ド・ラ・トゥールは暗闇の光を美しく描くので「() の画家」とも呼ばれている。《いかさま師》には別ヴァージョンがある。
- ダヴィッドの《皇帝ナポレオン1世と皇后ジョセフィーヌの戴冠式》は事実と異なる。実際には、教皇がナポレオンに冠をかぶせようとした瞬間、ナポレオンは () たのである。
- アルチンボルドはふざけているように見えるかもしれないが、オーストリアの () 家に仕えた宮廷画家であった。
- コロロの《真珠の女》は《 () 》と同じポーズをとっている。

【資料3】

2017後期Q.4 ArtのA【2】 宿題

2017.12.13(水)

★このままA4でコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。当日、コピーを忘れたら原本を提出。提出しなければ「宿題忘れ」扱い。

『世界10大美術館』pp.70～95 エルミタージュ美術館

学部 学科 学名 氏名

() 内に通語を入れなさい。テキストに載っていない場合は調べなさい。

■エルミタージュ美術館がある都市は(国名:)の(都市名:)である。この年についてテキスト本文は「ソビエト第2の都市」となっており、確かにソビエト連邦時代にもモスクワに次ぐ第2の都市であったが名前が違った。ソ連時代、この都市は()と呼ばれていた。1917年までロシア帝国の首都であった。この都市名aの意味は「聖()の街」である。現在この都市の人口は()万人で、人口が100万を超える都市としては世界でも最も北に位置する。この都市は、内陸にあるモスクワとは異なり、()海に面している。

■エルミタージュ美術館の収蔵品は約()万点。1点を1分間、毎日8時間見たとしても()年間もかかる。

■エルミタージュ美術館の事実上の創始者は、愛人を次々と取りかかえたことでも有名な()2世である。

■p.77のティツィアーノ《ダナエ》とp.79マティス《赤い部屋》の制作年にはおよそ350年の差がある。この2点を見比べて、「描き方」(何を描いてあるかではなく、どのように描いてあるか)の違いを3点述べなさい。

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- フランス語のフォヴイズム(Fauvisme)のフォーズ(Fauves)とは()という意味である。

■強い明暗のコントラストを用いたカラヴァッジョの画風を引き継いだ画家たちを()と呼ぶ。

■時代様式で言えば、ティツィアーノは()の画家であり、カラヴァッジョとレンブブランドは()の画家である。

【資料4】

2017後期Q.4 ArtのA【3】 宿題

2017.12.20(水)

★このままA4でコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。当日、コピーを忘れたら原本を提出。提出しなければ「宿題忘れ」扱い。

『世界10大美術館』pp.168～191 ウフィツィ美術館

冬休み明け
忘れないよう

学部 氏名

() 内に通語を入れなさい。テキストに載っていない場合は調べなさい。

■ルネサンスとは14世紀にイタリアから起こった古代()、()の古典文化を()する文化運動である。

■ウフィツィ美術館がある都市は(国名:)の(都市名:)である。この建物は、市の行政機関の事務所が基になっており、ウフィツィはイタリア語のUffizioに由来する。このUffizioは英語の(英語 or カタカナ:)に当たる。

■盛期ルネサンスの三大巨匠を、生まれた順に名前と生没年を記しなさい。

() () ～ ()

() () ～ ()

() () ～ ()

★3人の生没年の共通点を述べてください。

■ボッティチェリの《ヴィーナスの誕生》(p.173)と《春》(p.191)には、共通して(どちらにも)登場している人物(神)がいる。神の名前で答えなさい。

■テキストの今回の範囲に聖母子像が3点掲載されている。制作された順に、p.180のジョット、p.186のマザッチョ、p.174のラファエロである。同じ聖母子像でも随分と感じが違う。人物の描き方がどのように変わっていったか言葉で説明してください。

【資料5】

2017後期Q.4 ArtのA【4】 宿題

2018.1.10(水)

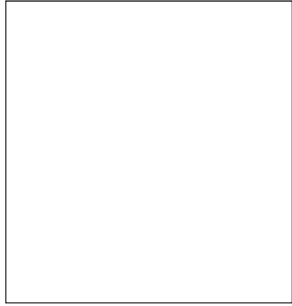
★このままA4でコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。
当日、コピーを忘れたら原本を提出。提出しなければ「宿題忘れ」扱い。

『世界10大美術館』pp.216~238 ヴァチカン美術館 +α

学部 _____ 氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。テキストに載っていない場合は調べなさい。

- ヴァチカン市国の面積は () より小さい。
- カトリックの信者は全世界に約 () 人いる。
- システイナナ礼拝堂内部の絵画作品の中では、()・ブオナローティが30代で描いた天井画と60代で描いた正面壁画《()》が有名であるが、側面にも傑作がある。たとえば、pp.224,225 ドメニコ・()の《使徒の改宗》や pp.234,235 (a)の《聖ペテロへの天国の鍵の授与》などである。
- 画家aは、《アテネの学堂》(共通教育28番教室の外壁に小さなレプリカがある)の作者()の師である。
- システイナナ礼拝堂の壁や天井に描かれた作品に用いられている技法(絵具など)は()である。これは、壁に()を塗り、それが乾かないうちに、水または石灰水で溶いた顔料で描く技法である。一旦乾くと堅牢な画面になるが、短時間に描かなければいけなく、描き直しもできないため、速く正確に描く技法が求められた。
- p.239を見よ。レオナルド・ダ・ヴィンチの《最後の晩餐》も壁画であるのに、レオナルドはじっくり描きたいタイプであったため、あえて上記の技法を採らず()と()という技法(絵具など)を用いた。そのため、この傑作はボロボロになった。修復はされたが、



■ サン・ピエトロ大聖堂は、建築物としても傑作であるが、そこにはミケランジェロの傑作彫刻作品《ピエタ》がある。ミケランジェロの《ピエタ》(《サン・ピエトロのピエタ》1498~1500年)の画像を調べて、誰が見ても「あ、ミケランジェロの《サン・ピエトロのピエタ》だ!」と思える程度に、全体を右の枠内いっぱい描いてください。

【資料6】

2017後期Q.4 ArtのA【5】 宿題

2018.1.17(水)

★このままA4でコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。
当日、コピーを忘れたら原本を提出。提出しなければ「宿題忘れ」扱い。

『世界10大美術館』

学部 _____ 氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。テキストに載っていない場合は調べなさい。

- テキスト掲載のフェルメールの作品に共通することをひとつ、下の枠内に述べなさい。
p. 28 《レースを編む女》
p. 50 《水差しを持つ女》
p. 202 《天秤を持つ女》
p. 244 《絵画芸術》
- p. 128掲載のヤン・ファン・エイクの作品とp. 256掲載のバルミジャンーノの作品の共通点は () である。
- p. 134 ハンス・ホルバイン《大使たち》の画面下部にある楕円形のような形のものは何か。ひらがなで答えなさい。
- p. 143 ミレイ《オフィーリア》はシェークスピアの『()の一場面である。
- p. 154 にルーベンス《わが子を喰らうサトウズルズ》がある。同じ題名の絵をゴヤも描いている。これら2点は、元の神話と照らし合わせると「それじゃ、ダメじゃん!」とつこみを入れたくなる。その理由を述べてください。



■ p. 167 ムンクの《叫び》。この作品のタイトルを《ムンクの叫び》だと思っている人がいるから、きみたちは間違えないように。(*)▽ さて、ムンクの《叫び》にはいくつかのヴァリエーションがある。テキスト掲載のものは別の《叫び》が今年来日する。その展覧会が開催される美術館を答えなさい。

■ p. 81 と p. 230 の絵は、バロック絵画の先駆者カラヴァッジョの作品である。p. 182 のアルテミジアとその父オラツィオら、カラヴァッジョの追隨者のことを()と呼ぶ。()と言ふ。彼らの強い明暗法を()と言ふ。

【資料7】

2018 美術理論【9】 宿題

2018.6.22 (金)

★このままA3でコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。
当日、コピーを忘れたら原本を提出。宿題は1週遅れまでしか受け取りません。

『世界10大美術館』pp.144~166 プラド美術館

氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。テキストに載っていないなければ調べなさい。

■プラド美術館は(国名:)の(都市名:)にある。
ベラスケスの作品は約()点、ゴヤの作品は()点以上所蔵されている。

以下、古い順に。

■ドリーア式(ドリス式)の他に、古代ギリシア建築の建築様式(オーダー)の主要なものには()式と()式がある。

■ロヒール・ファン・デル・ウェイデンの《十字架降下》は、()的に描かれており、バランスのとれた()である。

■デューラーの絵に描かれている右図のサインを()と
言う。



■ヒエロニムス・ボスの《快樂の園》は、()連の()画である。向かって左のパネルには()が描かれており、右のパネルには()が描かれている。

■エル・グレコの《受胎告知》を、pp.176,177レオナルドの《受胎告知》と比べてみなさい。ルネサンス期のレオナルドの方は、構図も落ち着いており、理想化され聖性を感じさせ荘厳な雰囲気である。

一方、エル・グレコの方は、筆致も色使いも構図も激しく動的、劇的である。

ルネサンス期の理想的・調和的な美が、ある意味で崩れていったこの時代の様式を()と言う。「エル・グレコ」とは()という意味である。

■ルーベンスの《わが子を喰らうサトゥルヌス》。この絵では、サトゥルヌスはわが子を「喰いちぎろう」としています。が、それじゃ、ダメじゃん! どうしてそれではダメなのか、神話を調べて、簡潔に述べなさい。

■プラド美術館のコレクションが最も充実したのは(a)が統治した時代である。この時、a に仕えたのがベラスケスである。

■「人生の虚しさ」の寓意を表す絵画を()と言う。

■ルーベンスと同様に「喰いちぎろう」としている、いや、わが子を「喰いちぎった」サトゥルヌスを描いているゴヤ。ゴヤは、ルーベンスやベラスケスと同じく、王に仕える()画家であった。成功していたゴヤであるが、46歳の時に病気の後遺症で()した。
《裸のマハ》と《着衣のマハ》はその後に描かれた。70代後半からは別荘の壁に、いわゆる「()い絵シリーズ」を描いた。「人間とは何か」が追求されている。《わが子を喰らうサトゥルヌス》もその中の一枚である。

■ルーベンス、ベラスケス、ムリーヨらが活躍した時代を()と言う。マニエリスムの後の時代様式である。

■この章で取り上げられている作品は、支持体には板かカンヴァスかの違いはあるが、技法はすべて(b)である。bの技法を完成させた画家はp.128 《アルノルフィーニ夫妻の肖像》を描いた()とその兄のフーベルトである。

■以下の言葉の英語(ローマ字)の綴りを記しなさい。

カンヴァス (またはカンヴァス)

キャンパス (大学構内)

ダイハツの軽自動車キャンパス

【資料 8】

2018 美術理論【10】 宿題 2018.7.6 (金)

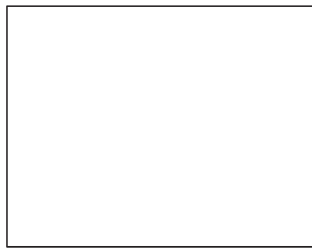
★このままA3でコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。
当日、コピーを忘れたら原本を提出。宿題は1週遅れまでしか受け取りません。

『世界10大美術館』pp.120~143 ロンドン・ナショナル・ギャラリー

氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。テキストに載っていないければ調べなさい。

■ラファエロの《教皇ユリウス二世の肖像》の全体を、この絵であるとわかる程度に以下の枠の中に描いてください。枠を絵の縁とする。



■ゴッホの「耳切り事件」。ゴッホは耳のどの部分をどれだけ切ったのか。文献かネットで調べてわかりやすく言葉か図で説明してください。

■ () ・ファン・エイクは兄のフーベルトとともに油彩画の技法を完成させた。油彩画が登場するまでは、細密画を描くには(技法:a)が用いられた。技法aは、顔料を () と混ぜて用いる。油彩画は、顔料をポビアーやリンシードといった () と混ぜて用いる。リンシードの和名は () 油である。

■《アルノルフィーニ夫妻の肖像》の壁にかけられた凸面鏡には () 人の人物が描かれている。 () を表している。

■ターナーは () の先駆けと言われる。

■ジャルダン《トランプの城》は、一見子どもの微笑ましい遊びを描いているように見えるが、実はこの作品は儂さを表した () 画である。

■ホルバイン《大使たち》の画面下の楕円形のような形のは (ひらがな可:) である。 () と言う。
このような描き方を ()

■プロンズイーノ《愛の寓意》におけるアトリビュートをまとめましょう。
(林檎と薔薇は、ひらがなカタカナでよい)

そのアトリビュートが表す神 アトリビュート
◆ヴィーナス・・・ヴィーナスが左手で持っている ()
画面左下に1羽しか見えないが、つがいの ()
男の子が両手で持っている ()
◆時の翁・・・ () と ()

■プロンズイーノ《愛の寓意》における象徴や擬人像をまとめましょう。

◆ヴィーナスとキューピッド・・・愛
◆顔を苦し気に歪め手で頭を覆った人物・・・ ()
◆上の左隅の人物・・・仮面をかぶった ()
◆右手と左手が逆になっている少女・・・ ()
◆仮面・・・ ()

■時代様式の話。ルネサンス様式の前の時代を () 様式と言う。

■ジョン・エヴァレット・ミレイは () 派の画家である。

■セザンヌ、ゴーギャン、ゴッホを () 派と言う。

スーラ、シニャックを () 派と言う。

【資料9】

2018 美術理論【11】最後の宿題

2018. 7. 13 (金)

★A3のままコピーを取って、次回授業開始時にコピーを提出。返却しません。コピーを忘れたら原本を提出。この宿題は試験終了時までしか受け取りません。

『世界10大美術館』 これまで範囲としていないページを中心に総合的に

氏名 _____

() 内に適語を入れなさい。テキストに載っていないければ調べなさい。

■ルーカス・クラナッハ。彼の名前は () あるいは () とも表記される。

■フェルメール《水差しを持つ女》。画面全体を覆うような青味は、当時金と同じほど高価だった () を顔料として使用しているものである。

■フェルメールの《絵画芸術》。モデルの女性はギリシア神話の女神 (a) である。aは、学問芸術を司る9柱の女神 (b) のひとりとして知られている。bの神殿 () が博物館 museum の語源である。

■フランスにおける官展(政府主導の展覧会)のことを () と言う。19世紀に、これに反発した画家たちが新しい芸術をつくり出した。

■写真主義のクールベ。彼の《オルナンの埋葬》(p.114) がサロンで酷評された理由を簡潔に述べなさい。

■第1回印象派展が開かれたのは () 年である。

■無審査で参加できる展覧会のことを () 展と言う。

■印象派登場の背景にある19世紀のテクノロジ―は、①写真の普及、と屋外制作を可能にした② () の開発・普及、である。

■西岡文彦は入門書・一般書としての美術の本をたくさん書いています。西岡文彦の著書の中であなたが読んでみたいと思う本を1冊選んでその本のタイトルを書いてください。読んでみたい人も、強いてでも1冊選びなさい。

■セザンヌ、ゴーギャン、ゴッホ。後期印象派の3人を、生まれた順にならべるとこうなる。3人の生没年を見よ。この順番は () 順でもあると言える。

■セザンヌ

セザンヌは複数の視点から見たものを一つの画面に描いた。これが(画家名:)らに影響を与えて(技法名:)が生まれた。これはさらに抽象画へと発展した。

■ゴーギャン

《イア・オラナ・マリア》(p.56)の「イア・オラナ・マリア」は () 語である。この絵の仏教的なポーズは、() 島の () 遺跡の彫刻のポーズをパクっている。

ゴーギャンの新しい絵画表現(色彩や輪郭線)に魅了された画家たち(ドニ、ボナール、ヴューイヤール)のグループ「ナビ派」。「ナビ」とは () という意味である。

■オルセー美術館の建物は () であった。

■マネの《草上の昼食》は () の《田圃の奏楽》と () の《パリスの審判》をパクって描かれている。

■ピーテル・ブリューゲル(父)の《バベルの塔》は、ローマの () をモデルにしている。

■ティントレットとは「() の息子」という意味である。そう言えば、英語に tint という単語がある。

■「三位一体」の読みは () である。

■聖セバスティアヌスのアトリビュートは () である。